

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス																																																															
科目名	技術者倫理	標準対象年次	選択/必修	科目コード																																																													
		1年次	必修	18003001																																																													
担当教員	剣持 茂	単位数	学期	曜日	時限																																																												
		2単位	前期	水曜日	6時限																																																												
授業の教育目的・目標	1. 技術が社会および自然に及ぼす影響・効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関して理解できる。 2. 社会から評価される「倫理実行」の手法を修得できる。																																																																
学科の学習・教育目標との関係	1. 技術者が社会に果たす役割や社会へ及ぼす影響の大きさを歴史的背景も踏まえて認識する。 2. 物事は、条件や立場の違いによって判断が変わる可能性のあることを知る。 3. 大学生として必要な教養倫理観を身に付ける。																																																																
キーワード	「技術者としての社会に対する責任」、「技術が社会・自然に対する影響について考える能力」、「自立した技術者の責任」、JABEE、技術士資格、適正科目																																																																
授業の概要	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点からとらえ、社会活動経験を交えた講義を行なう。公共を意識しながら自信と誇りをもって地域づくりに取組む意欲ある技術者について考える。授業構成は日米のさまざまな事例を取り上げながら、社会的条件の違いや組織と個人の間関係を踏まえた解説と、事例のディスカッションの2部構成となる。柔軟な思考力を身に付けためにもクラスでの積極的な発言は不可欠である。																																																																
授業の計画	<table border="1"> <tr> <td>第1回:</td> <td>技術者倫理概論 (授業の進め方)</td> <td>社会人としての基本①</td> <td>15分</td> </tr> <tr> <td>第2回:</td> <td>第1章: モラルへのとびら</td> <td>社会人としての基本②</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>第3回:</td> <td>第2章: 技術者と倫理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回:</td> <td>第3章: 組織のなかの個人の役割</td> <td>スペースシャトル事故</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>第5回:</td> <td>第4章: 組織上の人間関係</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回:</td> <td>第5章: 倫理実行の手法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7回:</td> <td>第6章: 技術者のアイデンティティ</td> <td>JCO 東海事業所臨界事故</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>第8回:</td> <td>第7章: 技術者の資格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回:</td> <td>第8章: 事故責任の法の仕組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第10回:</td> <td>第9章: 法的責任とモラル責任</td> <td>カネミ油症事件</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>第11回:</td> <td>第10章: コンプライアンスと規制法令</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第12回:</td> <td>第11章: 説明責任</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第13回:</td> <td>第12章: 警笛鳴らし (または内部告発)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第14回:</td> <td>第13章: 環境と技術者 第14章: 技術者の財産的権利</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回:</td> <td>第15章: 技術者の国際関係</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					第1回:	技術者倫理概論 (授業の進め方)	社会人としての基本①	15分	第2回:	第1章: モラルへのとびら	社会人としての基本②	〃	第3回:	第2章: 技術者と倫理			第4回:	第3章: 組織のなかの個人の役割	スペースシャトル事故	〃	第5回:	第4章: 組織上の人間関係			第6回:	第5章: 倫理実行の手法			第7回:	第6章: 技術者のアイデンティティ	JCO 東海事業所臨界事故	〃	第8回:	第7章: 技術者の資格			第9回:	第8章: 事故責任の法の仕組み			第10回:	第9章: 法的責任とモラル責任	カネミ油症事件	〃	第11回:	第10章: コンプライアンスと規制法令			第12回:	第11章: 説明責任			第13回:	第12章: 警笛鳴らし (または内部告発)			第14回:	第13章: 環境と技術者 第14章: 技術者の財産的権利			第15回:	第15章: 技術者の国際関係		
第1回:	技術者倫理概論 (授業の進め方)	社会人としての基本①	15分																																																														
第2回:	第1章: モラルへのとびら	社会人としての基本②	〃																																																														
第3回:	第2章: 技術者と倫理																																																																
第4回:	第3章: 組織のなかの個人の役割	スペースシャトル事故	〃																																																														
第5回:	第4章: 組織上の人間関係																																																																
第6回:	第5章: 倫理実行の手法																																																																
第7回:	第6章: 技術者のアイデンティティ	JCO 東海事業所臨界事故	〃																																																														
第8回:	第7章: 技術者の資格																																																																
第9回:	第8章: 事故責任の法の仕組み																																																																
第10回:	第9章: 法的責任とモラル責任	カネミ油症事件	〃																																																														
第11回:	第10章: コンプライアンスと規制法令																																																																
第12回:	第11章: 説明責任																																																																
第13回:	第12章: 警笛鳴らし (または内部告発)																																																																
第14回:	第13章: 環境と技術者 第14章: 技術者の財産的権利																																																																
第15回:	第15章: 技術者の国際関係																																																																
受講条件・関連科目	特になし																																																																
授業方法	必要に応じてWEBやビデオを使用して、テキスト中の事件を毎回討議する。レポート提出 (100字程度) あり。																																																																
テキスト・参考書	杉本泰治・高城重厚著『第五版 大学講義 技術者の倫理 入門』丸善株式会社																																																																
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験 (60%) ・レポート (40%)</li> <li>・その他 注意事項 (100点満点で60点以上を合格とする)</li> </ul>																																																																
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの購入をお願いする。</li> <li>・事例を授業中に討議するので、事前にテキストを読み込み自分だったらどのような意思決定をするのか熟考して出席する。</li> <li>・試験資格は出席率70% (11回) 以上である。30分以上遅刻は0.5回出席とする。</li> </ul>																																																																